

2026年8月26日

損害保険ジャパン株式会社

「ペロブスカイト太陽電池」の普及を加速する新保険の提供を開始 ～ユーザー、メーカーの保証リスクを軽減し、社会実装を後押し～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、次世代の国産エネルギーとして期待される「ペロブスカイト太陽電池※」の社会実装に向け、新たな保険（以下「本保険」）を開発し、提供を開始しました。

これは、日本のエネルギー自給率向上と脱炭素社会の実現に貢献するため、メーカーが製品の性能に関する保証制度を提供する際に生じるリスクに備える仕組みです。

本保険は、ペロブスカイト太陽電池の早期量産化と社会実装に向けた事業展開を牽引する積水化学工業株式会社（代表取締役社長：清水 郁輔）のグループ会社、積水ソーラーフィルム株式会社（代表取締役社長：上脇 太）に、このたび採用されました。

※ ペロブスカイト太陽電池は、「ペロブスカイト」と呼ばれる特徴的な結晶構造を持つ化合物を発電層に用いた、日本発の次世代型太陽電池です。積水ソーラーフィルム株式会社が手掛けるフィルム型ペロブスカイト太陽電池は、従来の主流であるシリコン系太陽電池に比べ、「薄い」「軽い」「曲がる（柔軟性がある）」という革新的な特徴を備えています。これにより、これまで耐荷重の観点で設置が難しかったビルの壁面や工場の屋根、さらには窓や曲面など、あらゆる場所への設置・発電が可能となります。

SOLAFIL®



（写真提供：積水ソーラーフィルム株式会社）

1. 背景・目的

近年、脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入が世界的に進展しています。日本においても、安定的なクリーンエネルギーの確保とエネルギー自給率の向上は喫緊の課題です。

このような背景のもと、ペロブスカイト太陽電池は、主原料である「ヨウ素」の生産量において日本が世界有数のシェアを誇ることから、海外依存脱却に向けた国産技術として、政府主導で社会実装が急がれています。

しかし、一般的に革新的な新技術はリスク評価に足る十分なデータが不足しており、導入するユーザーと供給するメーカーの双方がリスクを抱えるという課題がありました。

ユーザーが安心して新技術を導入でき、同時にメーカーの保証リスクを軽減させるべく、損保ジャパンは独自の評価方法を構築し、積水化学工業株式会社および積水ソーラーフィルム株式会社と共同で本保険を開発しました。

2. 本保険の概要

ペロブスカイト太陽電池の本格的な普及に向けては、導入するユーザーが安心して利用し続けられる環境づくりが不可欠です。本保険では、製品の運用プロセスにおいて、万が一、性能等に関してメーカーによる保証対応が必要となった場合、それに伴って発生するメーカー側の費用損害を包括的に補償します。



3. 今後の展望

損保ジャパンは、本保険を通じてメーカーの保証制度を支援します。これにより、企業や地方自治体がペロブスカイト太陽電池のような革新的な新技術を安心して選択、投資できる環境を整備し、その社会実装を全面的にサポートします。さらに、本保険の提供で得られる知見を最大限に活用し、将来的な技術革新や多様な設置ニーズに対応した、より高度な保険商品・サービスの開発を継続的に推進します。これらの取組みを通じて、日本発のクリーンエネルギーの普及とエネルギー自給率の向上を後押しし、SOMPOのパーパスである「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」の実現と、持続可能な社会の構築に向けて、事業活動を通じて積極的に貢献します。

4. 関係者コメント

＜積水ソーラーフィルム株式会社 代表取締役社長 上脇 太＞

「薄くて、軽くて、曲がる」フィルム型ペロブスカイト太陽電池は、新しい技術であり、従来の太陽電池が設置できなかった場所に設置し、新たな再生可能エネルギーの供給源を社会に提供することができます。その可能性をご理解いただき、本保険を実現いただいたことに深く感謝申し上げます。

当社は国内外のエネルギー課題の解決を目指し、普及を加速すべく、大阪府堺市に量産工場を建設中です。今後も損保ジャパンの皆さまとともに、お客さまに安心を届けながら普及を加速してまいります。

5. 本件に関するお問い合わせ先

①報道機関からのお問い合わせ先

[問い合わせフォーム（報道関係者用）](#)

②お客さまからのお問い合わせ先

損保ジャパン フィナンシャルライン保険業務部 瑕疵保証・費用利益グループ

[問い合わせフォーム（お客さま用）](#)

以上



つなぐ・つながる

すべての人のしあわせと、サステナブルな未来を。